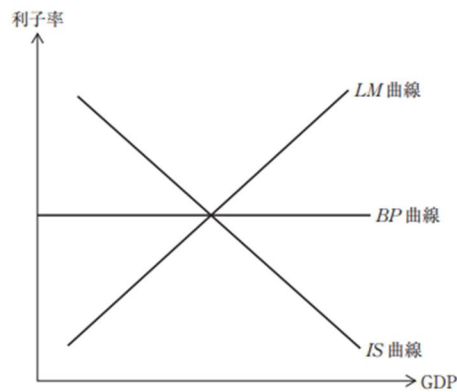


SHEET15 マンデル・フレミングモデル

レベル 1

R3 第 10 問

完全資本移動の場合のマンデル=フレミング・モデルについて考える。下図において、*IS* 曲線は生産物市場の均衡、*LM* 曲線は貨幣市場の均衡、*BP* 曲線は国際収支の均衡を表す。この経済は小国であるとする。変動相場制のケースでの経済政策に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



- a 金融緩和政策は、資本が海外から自国に流入することにより、自国通貨高を生じさせる。
- b 財政拡大政策は、資本が海外から自国に流入することにより、自国通貨高を生じさせる。
- c 金融緩和政策は、輸出を増加させることを通じて、自国の GDP を増加させる効果を持つ。
- d 財政拡大政策は、輸出を増加させることを通じて、自国の GDP を増加させる効果を持つ。

〔解答群〕

- ア a と c
- イ a と d
- ウ b と c
- エ b と d

R2 第 11 問

グローバル化の進展には、資本移動と為替レート制度が重要である。ここでは、マンデル=フレミング・モデルの完全資本移動かつ小国のケースを考える。

変動為替レート制下での財政政策と金融政策の効果に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 財政拡大政策は、完全なクラウディング・アウトを引き起こし、所得は不変である。
- b 金融緩和政策は、自国通貨高による純輸出の減少を引き起こす。
- c 財政拡大政策は、自国通貨安による純輸出の増加を引き起こす。
- d 金融緩和政策は、純輸出の増加を通じて、GDP を押し上げる。

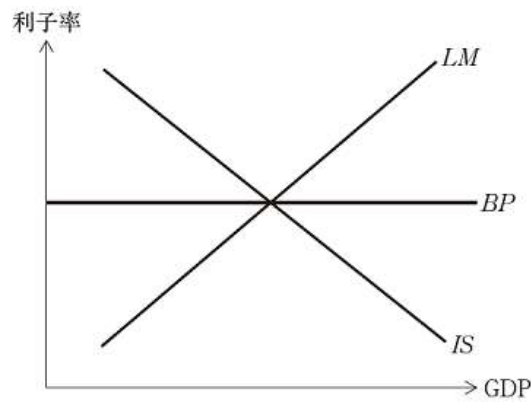
〔解答群〕

- ア a と b
- イ a と d
- ウ b と c
- エ c と d

H30 第9問（設問1,2）

下図において、IS曲線は生産物市場の均衡、LM曲線は貨幣市場の均衡、BP曲線は国際収支の均衡を表す。この経済は小国経済であり、資本移動は完全に自由であるとする。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問1）

変動相場制の場合における政府支出増加の効果に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 為替レートは増価する。
- b GDPは増加する。
- c 純輸出の減少が生じる。
- d 民間投資支出の減少が生じる。

〔解答群〕

ア aとc イ aとd ウ bとc エ bとd

（設問2）

変動相場制の場合における貨幣供給量増加の効果に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 為替レートは増価する。
- b GDPは増加する。
- c 純輸出の増加が生じる。
- d 民間投資支出の増加が生じる。

〔解答群〕

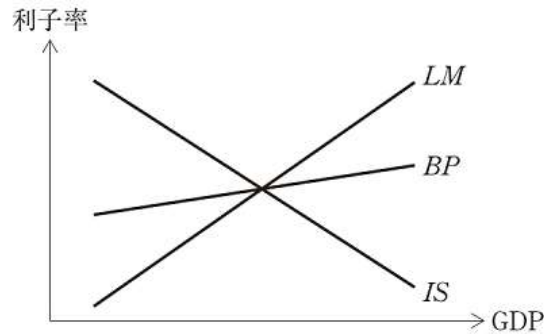
ア aとc イ aとd ウ bとc エ bとd

H27 第10問

今日、経済政策の効果は、開放経済の枠組みで考える必要がある。

下図は、開放経済におけるマクロ経済モデルを描いたものである。小国開放経済、不完全資本移動、変動相場制度、物価硬直性、期待外国為替相場一定を仮定する。図中のBP曲線は、国際収支を均衡させる、GDPと利子率との組み合わせを表したものである。

貨幣量の拡大に伴う効果に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

- ア 貨幣量の拡大はLM曲線を下方にシフトさせ、純輸出を増加させるものの、民間投資支出の減少を通じてGDPを減少させる。
- イ 貨幣量の拡大はLM曲線を下方にシフトさせ、GDPを増加させるものの、クラウディングアウトを発生させる。
- ウ 貨幣量の拡大は自国金利が相対的に低下することで内外金利差を生み出し、自国通貨を減価させる。
- エ 貨幣量の拡大は自国通貨を増価させ、純輸出を減少させる。

解答

SHEET15 マンデル・フレミング モデル			
レベル1	R3	10	ウ
	R2	11	イ
	H30	9(1)	ア
	H30	9(2)	ウ
	H27	10	ウ